

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	2154	(H.25)No.	2154
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害者相談支援事業(発達障害分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
子ども部	子ども発達支援センター	岡崎 みどり	

会計区分	事業コード	172011
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域生活支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者自立支援費	障害者相談支援事業(発達障害分)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	3	自立を支える障害者福祉の推進
重点施策コード	3-2.教育環境の充実(特別支援教育)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
発達障害を中心とした早期発見・早期対応のため、障害児相談と連携することで、相談体制の充実を図ります。
事業内容
(仮称)名張市子ども発達支援センター整備計画では、子どもの発達を心配する家族からの相談に対応し、適切な支援につなげる初期相談機能を持たすこととしています。このため、言語聴覚士等専門職を配置している社会福祉法人育成会に事業を委託し、初期相談の段階で家族に対して療育の理解を促し、円滑に専門相談につなぐことができる体制を確保します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業委託(委託先:名張育成会(どれみ)) 発達支援に係る臨床心理士等専門職による専門相談の実施(相談件数 422件) 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業委託(委託先:名張育成会(どれみ)) 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業委託(委託先:名張育成会(どれみ)) 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業委託(委託先:名張育成会(どれみ)) 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業委託(委託先:名張育成会(どれみ)) 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金	2,625	2,055			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,375	2,945	5,000	5,000	5,000
人工数					
職員	0.09人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 684千円	760千円	760千円	760千円	760千円
①+②総事業費	(0千円) 5,684千円	5,760千円	5,760千円	5,760千円	5,760千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成25年度より新たな施設及び組織体制の中で、子ども発達支援に係る事業の充実を社会福祉法人が運営する児童発達支援センターとの連携を密接に図りながら実施する事業として取組みます。	市単独で配置できない専門職員の支援を行い、発達障害児等及びその家族への支援を行っていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	当該事業を含めた施策の推進が子育て・子ども支援に係る市民満足度の指標を増加させるものと考えます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 教育センターと併設した子どもセンターを開設し、0歳から18歳までの子どもの育ちと学びを総合的、継続的にサポートすることができる体制整備を行いました。今後、発達支援の推進に当たり、子どもセンターを活用した取組を実施し、名張市内の全ての子ども達が地域や家庭の中で、安心して生活できる「産み育てるにやさしいまち名張」の実現を目指します。	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 次世代育成支援行動計画 ばりっすくすく計画